

2019年10月28日 日本テレビ 定例記者会見

《 要旨 》

1. 視聴率動向と編成戦略

2019年第43週の世帯視聴率は三冠を逃した。各局、スポーツなどの単発番組も多くあり、レギュラー編成ではない部分もあるので、10月期の状況を断定的に申し上げるタイミングではない。特に新ドラマなどはこれから力を入れて、さらにPRも行いたい。

2. 営業状況

・放送収入

タイムセールスは好調、スポットセールスが苦戦という傾向がある。ラグビーのセールスに関しては多くのスポンサーから支持を受けられた。

3. その他

・24時間テレビから被災地への義援金

台風15号の際に千葉県に500万円の義援金を贈った。また台風19号の被害に遭った岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、神奈川県、長野県、静岡県には、それぞれ義援金500万円の拠出を決定し、10月15日から緊急募金も呼び掛けすでに2600万円以上の寄付金が集まっている。現在、台風21号の大暴雨による被害への支援も検討している。(※10月29日 千葉県に義援金500万円の拠出を決定)

・台風など災害時の対応について

台風19号に関しては10月12日のレギュラー枠を差し替え、合計2時間半の特番を放送した。10月12日早朝から37時間にわたりL字画面を挿入するなど、合計で50時間L字を挿入した。全国の状況を伝えると共に、関東エリアの局として首都圏の報道を特に心掛けた。報道機関として少しでも多くの人命を救うことが第一義であるので情報発信と注意喚起にさらに注力していきたい。

・ラグビーワールドカップの放送について

当社は、2007年のフランス大会からラグビーの試合の中継を続け、今回は19試合を生放送するという決断をした。日本代表の予選プールでの4試合の合計ユニークユーザー数は7903万人であった。大会の開催までには、長期間、様々な番組でラグビー選手を取り上げ、ネットワーク系列の協力やデジタル施策、他局との新しいコラボレーションなど前代未聞の取り組みがあった。来週には、決勝戦の放送がある。

・チュートリアル徳井義実氏の番組出演について

社会的に影響力のある方が国民の義務を果たしていないかったことは残念に思う。悪意がどれだけあったかではなく、結果責任を見ていかなければいけない。吉本興業の発表を受け、日本テレビとしては、これから収録がある番組は当面出演を見合わせる。収録済みの番組は編集面で最大限配慮をする。

(了)

小杉 善信 代表取締役 社長執行役員

廣瀬 健一 取締役執行役員

福田 博之 取締役執行役員